

用紙ワンポイントガイド

Revoria Press PC1120

2021年7月 第1版

はじめに

この用紙ワンポイントガイドは、Revoria Press PC1120を利用されるお客様に、黒紙や色紙の特性を理解していただき、用紙データベースに掲載されていない黒紙や色紙を適切に設定していただけるように提供するものです。

ただし、この用紙ワンポイントガイドに記載されている内容は、プリント結果を保証するものではありません。

用紙は、製造ロットや保管状況によって性質が変わったり、プリント環境（温度、湿度）の影響を受けたりします。プリント環境が変わったときは、再度、設定しなおしてください。

新しい用紙の使用を検討されている場合は、お客様のプリント環境において、この用紙ワンポイントガイドの手順で用紙の設定を行い、確認プリントをしていただくことをお勧めします。うまくプリントできない場合は、弊社の営業担当者、またはカスタマーエンジニアにお問い合わせください。

68 参照

本ガイドと合わせて、『プリンター本体マニュアル』の「2 用紙のセットと排出」>「用紙について」もお読みください。

用紙と電気抵抗の関係

電子写真によるプリント（ゼログラフィー）では、静電気を利用しているため、用紙の坪量が同じでも電気抵抗値の違いによって転写電圧の最適値が大きく異なります。

例えば、黒紙には染料塗工を用いる場合と、顔料塗工を用いる場合があり、顔料塗工の黒紙の中には電気抵抗値が著しく小さいものがあります。

使用する用紙の特性に合った転写出力の電圧比や定着温度を設定することで、より確実にトナーを転写させることができます。

補足

用紙データベース、またはメディアライブラリーの用紙リストに掲載されている用紙は、掲載されている設定にしてください。

分類	着色剤	概要
黒紙	顔料塗工	白紙に対し電気抵抗が小さい
	染料塗工	電気抵抗は白紙とほぼ同じ
白紙	なし	最も汎用的な用紙。表面の塗工によって光沢を出すグロスコート紙、光沢をおさえるマットコート紙、コートしない上質紙、などに分類される

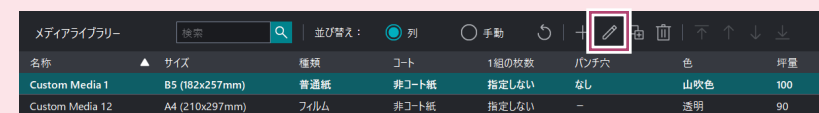
■ 高度な設定の表示

定着温度や転写出力などの調整は［高度な設定］で行います。［高度な設定］は次の手順で表示させることができます。

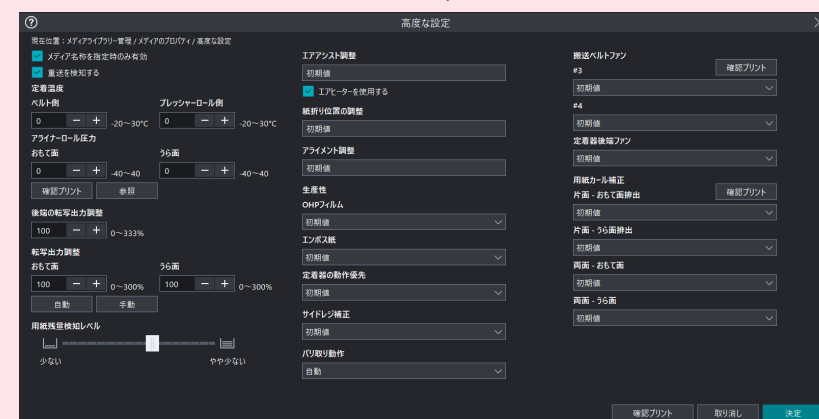
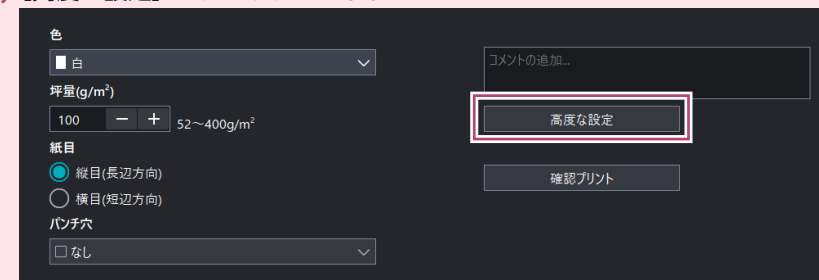
- (1) [メディアライブラリー管理] をクリックします。



- (2) [メディアライブラリー] で編集するメディアを選択し、（編集）をクリックします。

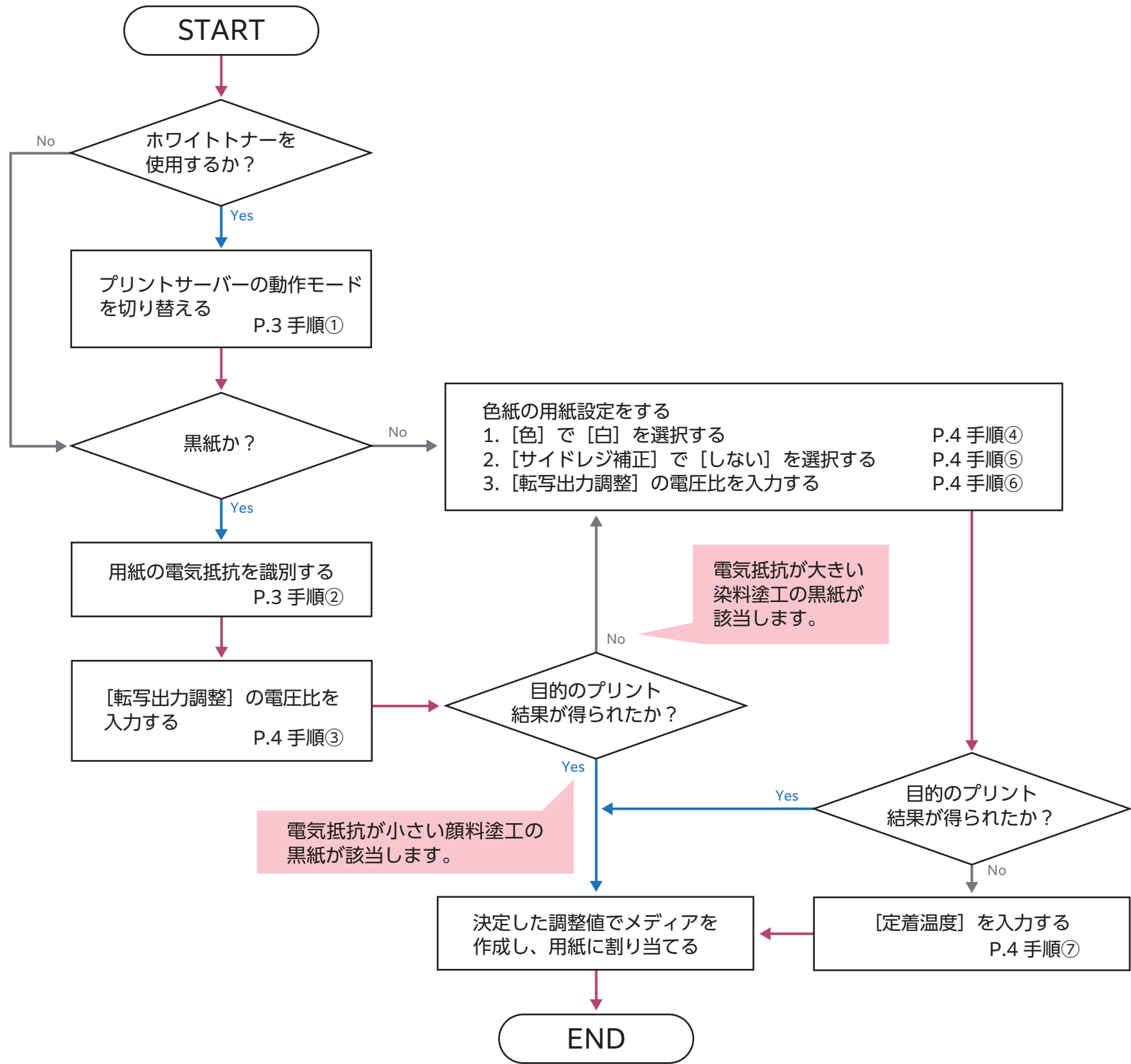


- (3) [高度な設定] をクリックします。



黒紙、色紙の用紙の設定

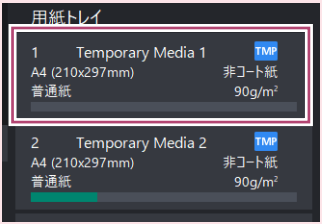
使用する用紙の色、着色剤の違いにより、用紙の設定の内容が異なります。
次のフローを参照して、メディアを作成してください。



■ メディアの用紙トレイへの割り当て

作成したメディアを用紙トレイに割り当てることで、設定した内容をプリントに反映できます。

- (1) [高度な設定] をしたときは、[決定] をクリックします。
- (2) [メディアの新規作成] (または [メディアのプロパティ]) で、[決定] をクリックします。
メディアが登録されます。
- (3) プリントする用紙を用紙トレイにセットします。
- (4) 用紙をセットした用紙トレイをクリックします。



- (5) [メディアライブラリー] をクリックします。



- (6) 作成したメディアを選択し、[決定] をクリックします。

手順①

プリントサーバーの動作モードを切り替える

- 色紙に単白（ホワイトトナー1回塗り）でプリントする場合、プリントサーバーの動作モードを切り替えることで、白さをより強調することができます。
- 色紙に単白（ホワイトトナー1回塗り）+CMYKでプリントする場合も、使用していないプリントエンジンの現像剤の劣化を軽減するため、動作モードを切り替えてください。

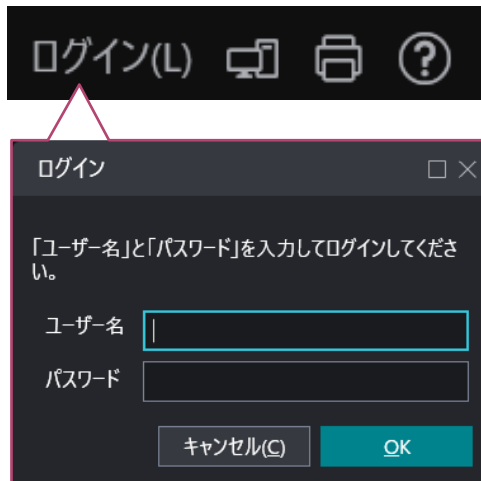
注記

プリントサーバーの「メモ/カラーパッチ」を使用しているときは、白黒（単色）プリントはできません。

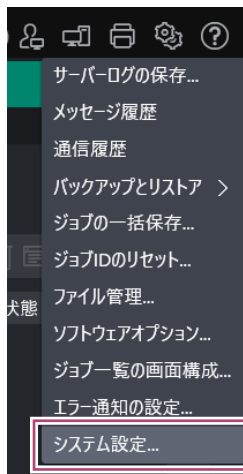
補足

生産性が落ちるため、色紙にホワイトトナーを使用するとき以外は、動作モードを変更しないことをお勧めします。

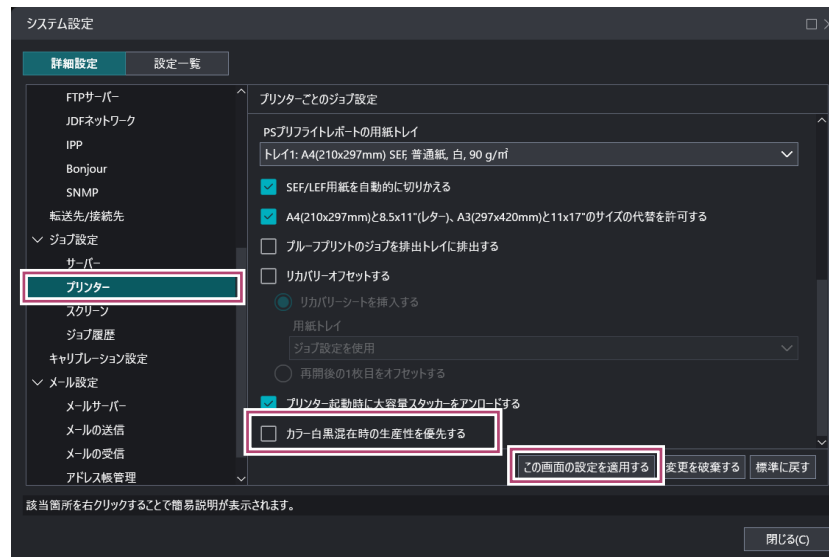
1. 管理者モードでログインします。



2. 設定（）をクリックし、[システム設定] を選択します。



3. [ジョブ設定] の [プリンター] を選択し、[カラー白黒混在時の生産性を優先する] のチェックを外し、[この画面の設定を適用する] をクリックします。



手順②

用紙の電気抵抗を識別する

サンプルファイルをプリントして、用紙の電気抵抗を識別します。

1. プリントサーバーの次のフォルダーの「White_Toner_Density_Check_Pattern_A3.pdf」をPrint Stationに読み込み、プリントします。

D:\¥PrtSrvPublic¥UtilityFiles¥TKOR

補足

ホワイトトナーを含む、任意のデータで行うこともできます。

(1) [ジョブ読み込み] で、PDFファイルを読み込みます。

参照

『Revoria Flow PC11 ユーザーズガイド 基本操作編』 3.4

(2) 「white1」（最前面用）、または「white6」（最背面用）を特色として登録します。

参照

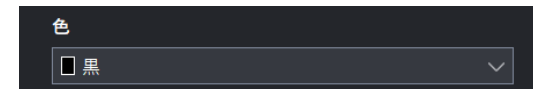
『Revoria Flow PC11 ユーザーズガイド カラー調整編』 2.3

(3) ジョブプロパティで、[最前面]、または [最背面] の [特色版の置換] で、[指定した特色版を置換] を選択し、「white1」または「white6」と入力します。

参照

『Revoria Flow PC11 ユーザーズガイド ジョブプロパティ編』 8

2. メディアライブラリーの [色] で [黒] を選択し、プリントします。



(1) [高度な設定] の [転写出力調整] を「100」%にして、1枚プリントします。



(2) [高度な設定] の [転写出力調整] を「200」%にして、1枚プリントします。



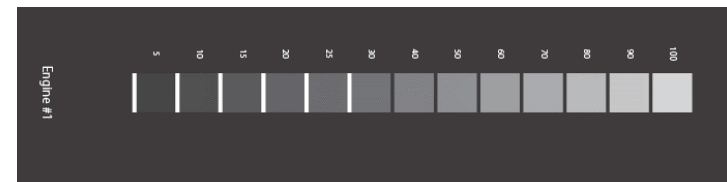
補足

このPDFファイルは、単白（最前面、または最背面がホワイトトナー）用です。白重ね（最前面、最背面ともホワイトトナー）ではプリントできません。ただし、ユーザー調整カーブで、CMYK値を「0」にすると、白重ねでもプリントできます。

3. 100%でプリントしたものと、200%でプリントしたものを目視で比較します。

■ 100%の方が白く見える：電気抵抗が小さい用紙

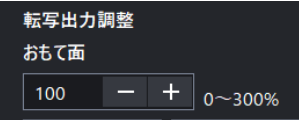
■ 200%の方が白く見える：電気抵抗が大きい用紙



手順③

「転写出力調整」の電圧比を入力する

手順②で識別した用紙の電気抵抗から、下表を参考に、調整開始値を決定します。
プリントサーバーに格納されている画像データ、またはお客様の画像データに対し、「転写出力調整」を調整開始値から±10%ずつ変更しながら、確認プリントを繰り返し、画像が最もきれいに見える電圧比を入力します。



電気抵抗	調整開始値
小さい	100%
大きい	200%

プリントサーバーに格納されている画像データでの転写出力調整

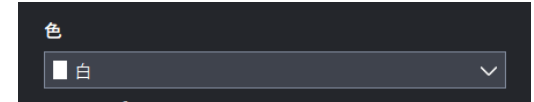
- プリントサーバーの次のフォルダーの「ColorPaper_Adjustment.pdf」をPrint Stationに読み込みます。
D:¥PrtSrvPublic¥UtilityFiles¥TKOR
- 出力物の黄枠部分2ヵ所（白+CMYK、白のみ）の色がどちらもはっきり印字されるように、「転写出力調整」の値を変更しながら確認プリント（用紙サイズ：A3）を繰り返してください。
値が低すぎても、高すぎても、2ヵ所のどちらかの色が薄くなります。

使用されているトナーの色	色が濃い (調整値が高すぎる)	色が薄い (調整値が低すぎる)
白+CMYK		
白のみ		

手順④、⑤、⑥

色紙の用紙設定をする

- 手順④：メディアライブラリーの「色」で「白」を選択する。



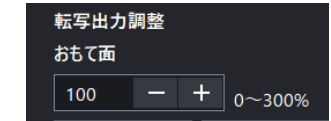
「色」で「黒」を選択すると、自動的に電圧比が下がります。
電気抵抗が大きく、高めの電圧比が必要な用紙では、「白」を選択することで、自動的に電圧が下がることがなくなります。

- 手順⑤：「高度な設定」の「サイドレジ補正」で「しない」を選択する。



「色」で「白」を選択して、黒紙や濃い色の用紙を走行させると、センサーが用紙を検知できず、紙づまりが頻発します。「しない」にすることで、用紙を検知できるようになります。

- 手順⑥：プリントサーバーに格納されている画像データ、またはお客様の画像データで、「高度な設定」の「転写出力調整」の電圧比を入力する。

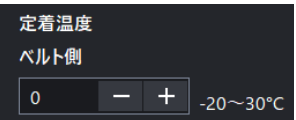


100%を調整開始値として、±10%ずつ変更しながら確認プリントを繰り返し、画像が最もきれいに見える電圧比を入力します。

手順⑦

定着温度を入力する

「色」で「白」を選択したときは、「黒」を選択したときより、定着温度が自動的に下がります。
黒紙や濃い色の用紙は、白紙よりも高い定着温度が必要なため、定着温度を調整します。下表の値を参考に、「定着温度」の「ベルト側」を±5℃ずつ変更しながら、確認プリントを繰り返し、画像が最もきれいに見える定着温度を入力します。



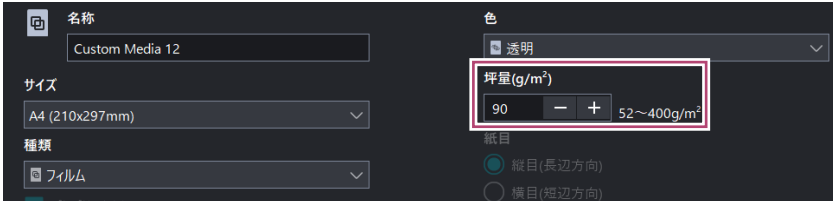
銘柄 坪量	設定温度
紀州赤 124	15℃
紀州赤 209	5℃
紀州赤 91	0℃
紀州銀124	15℃
紀州銀 91	0℃
ケンラン黒 261	25℃
デンカラー漆黒 250	10℃
デンカラー漆黒 350	10℃

透明フィルム用のメディアの設定

1. メディアライブラリーの【種類】で【フィルム】、【色】で【透明】を選択します。



2. フィルムの厚さに応じて、坪量を入力します。



フィルムの厚さ (μm)	坪量 (g/m²)
100	140
150	210
188	263

補足

フィルムは厚さ (μm) 表示のため、用紙坪量を入力するときは、1.4倍の値を入力します。

3. 【高度な設定】をします。

	種類	色	坪量 (g/m²)	高度な設定	
				バリ取り操作	生産性→定着器の動作優先
透明フィルム	フィルム	透明	～156	自動	画質を優先する
			157～		
耐水ホワイトフィルム		白	～156		プリント速度を優先する ／画質を優先する
			157～		

補足

- 156 g/m²以下の透明フィルムで、【バリ取り動作】が【自動】でうまくプリントできないときは、【しない】を選択してください。
- トナーの定着が弱いとき（トナーがフィルムからはがれるとき）は、定着温度を上げます。
- 色が薄い場合は、転写出力調整をします。

■ デバイスリンクプロファイル

プリントサーバーでは、カラープロファイルとして、透明フィルム（ホワイトトナー使用）に最適化したプロファイルが用意されています。

- 【ホワイト最前面】は、透明フィルムを裏から見るなど、裏にイメージをプリントする用途（CMYKトナーの上にホワイトトナー）、【ホワイト最背面】は、クリアファイルなど、表にイメージをプリントする用途（ホワイトトナーの上にCMYKトナー）に最適化しています。
- ホワイトトナー使用時は、通常のキャリブレーションができません。キャリブレーションは標準のコート紙（OKトップコート+）で実施してください。
- 透明フィルム用のプロファイルを適用することで、用紙種類によっては、色紙、蒸着紙（メタリック）の色再現が良くなることがあります。